

令和7年10月2日
(資料提供)

(事務担当)

所属名：農林総合研究センター 農業試験場
中央普及支援センター 病害虫防除室
直通：257-6972

令和7年度病害虫発生予報第7号について

今後 発生が予想される果樹、野菜、花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 10月上旬～10月下旬

2 予報内容

(1) 果 樹

カキ炭疽病の発生は**多**と予想される。降雨前後の薬剤防除および罹病した果実の処分を徹底する。

(2) 野 菜・花 き

軟腐病の発生は**多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

ブロッコリー黒すす病の発生は**やや多**と予想される。定植後30日頃と発らい初期の防除を徹底する。空気感染し強風後に感染拡大しやすいため、前後の防除を徹底する。

トマトキバガの発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

栽培終了後は、速やかに施設内の植物を枯死させ、搬出および埋却を行う。

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガの発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

※病害虫防除実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。